

帰省の人に郷愁を誘う配水塔、白根庭園

私の思い出

あの時々の場所

語る人

熊倉幸子さん

(旭町3・五十四歳)



四月十日水道公園へバイクニツクに行き、新潟市からサイクリングでこの公園に来たという老人に会いました。その人は、白根市にこんな立派な桜や公園があるのかと、とても感心されていました。

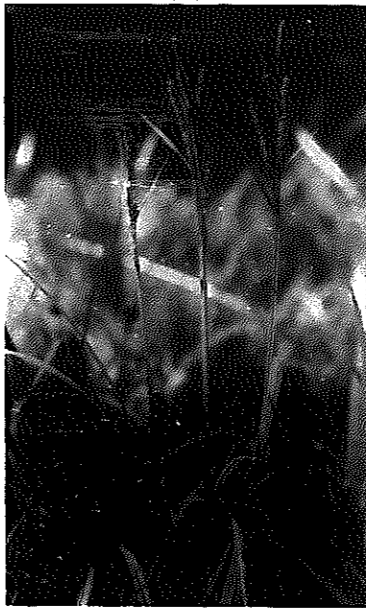
この場所には、水道公園を見下ろすように「配水塔」が建っています。「配水塔」は、白根を離れた人にとって、帰省の際にその姿を見ると、まさに「白根に帰ったんだな」と郷愁を誘う建造物です。そしてその隣には「白根庭園」。この庭園は、私が小学校一年生のころ、元白根町町長から寄付された立派なものです。一年に一回はどうしてもそこへ行ってみたいくらいです。

昔は庭園の草むらに腰を下ろすと、中ノ口川の流れを見ることができました。今は残念ながら、堤防がかさ上げされて、その流れを見ることができません。庭園の草むらから見た中ノ口川は、とてもロマンチックなものでした。

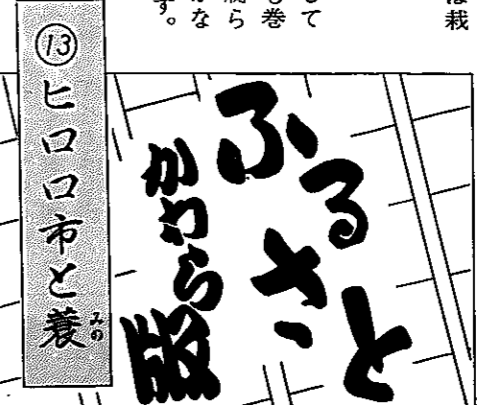
ヒロロ

ヒロロという植物をご存じでしょうか。昔、これですげがきや蓑を作ったのです。カヤツリグサ科の植物で、その名もずばりカサゲといわれています。

ヒロロは野山の池、沢、川など、水気のある所に自生しています。茎は高さ五〇〜一〇〇センチで、全国に分布しています。自生のもので品質があまりよくなかったため、山間部では栽培もしていました。



▲カサゲ (ヒロロ)



しておくと、二、三年は使用できました。手入れが悪いと一年ぐらいいだめになったのです。蓑は農家の必需品でしたから、手入れには大変気を使ったものです。

ヒロロ市

山間部では土用にヒロロを収穫し、よく干して数十本を一束にして売りました。正月一日(新

▼ヒロロ市 (昭和15、6年ごろ)



暦二月二日)に白根の裏町で開かれていた初売りは、一般に「ヒロロ市」とも呼ばれ、山間部からヒロロ売りがやってきました。ヒロロは大変高価だったので、ヤマモトの人たちの稼ぎ時だったわけです。

白根の農家ではちようど冬場の農閑期でしたから、ヒロロを買って、蓑作りに精を出したものです。三、四日かけて、およそ二十束のヒロロを麻で編んで、蓑が一つできたのです。

ヒロロが高価だったため、わらのしん(ミゴ)を交ぜる場合がありました。やはり寿命は短かったようです。

現代では蓑の需要はなくなりましたが、民芸品に形を変えて私たちが楽しませてくれていきます。これからも伝統に親しみ、伝えていきたいものです。

市立図書館新刊案内

市立図書館 ☎373-2810

雨物語 (半村良) 夕焼け学校 (嵐山光三郎) ヤポネシア讃歌 (立松和平) ハイブリッド・チャイルド (大原まりこ) 無印結婚物語 (群ようこ) 遠い太鼓 (村上春樹) 娘への十二通の手紙 (藤本義一) ドキュメント地方 (鎌田慧) 難民の家 (遠藤充) まちづくり読本 (延藤安弘) 虚名 (西木正明) ほか多数

おわびと訂正 先月号で紹介した「平和の発見」の作者は、花山信勝でした。訂正しておわびします。

十六年の歳月を要して書き上げられたという「橋のない川」は、全六部の長編小説です。私が、最後の第六部を読み終わってから、すでに十年余りが過ぎましたが、今も心に残る一冊になっています。

同じ日本人でありながら、ある土地に生まれたというだけで、非人間的なきげすみに耐えなければならなかった差別部落の人々。差別という宿命を背負って必死にその重圧と闘いながら成長していく誠太郎と孝二の兄弟。



私の一冊 No.5

「橋のない川」 住井すゑ 新潮社

木川久子さん (諏訪木7・54歳)



暗いテーマにもかかわらず、作者は、彼らの生き生きとした生命の息吹を明るく力強くうたい、美しい友愛が全編を通して響くように心を打ちます。人間が人間に下す差別の残酷さに、息をのむほど衝撃的な本との出会いでした。

個人・家族の将来計画表(例)

各期 (年齢)	分野					
	仕事	家庭生活	趣味	健康づくり	社会生活 人間関係	その他
乳幼児期 (0~5)						
児童期 (6~11)						
青年期 (12~25)						
壮年期 (26~40)						
実年期 (41~60)						
高齢期 (61~)						

生涯学習、時代の習生

教育委員会社会教育課 佐藤正則

生涯学習を考えるときの基本は、どんなことでしょうか。白根市民としての「あなた」が心豊かに生きがいを持って伸びていくために何が必要か? ということではないでしょうか。そこであなただ、あ

あなたの家族の今後について将来設計をし、そのためにどんなことを身に着け、どんなことをやってみようかという計画を立ててみてはいかがでしょうか。

左の表は例です。年齢の区切りや分野については、あなたや家族に合った形に書き換えたり、書き加えたりして、まず「あなた」あるいは「家族」の計画表(生涯学習計画表)を作ってください。その上で表に書き込んでみてください。どんな将来像が描けるでしょうか。

友人、恋人、夫婦、あるいは家族ぐるみで表をもとに話し合えたから、その日から心豊かな生活のスタートが切れそうですね。

原稿募集

▶私の思い出 あなたの心に残るあの時の思い出をお寄せください ▶私の一冊 あなたの愛読書をご紹介ください ▶あて先 白根市役所広報広聴係 (〒950-12 白根市大字白根1235・☎373-2111(内)333) 皆さんの便りをお待ちしています